シリーズ
企業訪問

株式会社 ニューメディア

～「地域密着」を理念に豊かな生活を創造する地域メディア・情報通信企業～

酒井 彰 社長

企業概要

代表者：代表取締役社長　酒井　彰（さかい　あきら）
所在地：山形県米沢市春日４丁目２－75
設　立：1986年６月　　ＴＥＬ：0238－24－2525
資本金：10億8,690万円　　ＦＡＸ：0238－24－2526
従業員：140名　　ＵＲＬ：http://www.ncv.co.jp/
事業概要：ケーブルテレビ・システム開発・メディア事業

我が国のケーブルテレビ（自主放送あり）普及率（平成28年３月）は52.3％ですが、福島県の普及率は4.0％と全国最下位です。本県でケーブルテレビサービスがあるのは、伊達市や西会津町など一部地域に限られており、多くの県民にとって、ケーブルテレビそのものはあまり馴染みがないかも知れません。一方、近年、ICT（情報通信技術）が急速に進化してきており、皆さんの生活の中でインターネットは欠かせない存在になっているのではないでしょうか。

株式会社ニューメディアは山形県米沢市でNCV（ニコニコ・ケーブルテレビ）の愛称でケーブルテレビ事業やインターネット接続サービスなどを展開しており、地域に夢を提供し、豊かな生活づくりに邁進している企業です。今回は米沢市の本社を訪れ、酒井彰社長に会社の歩み、ケーブルテレビの現状、今後の展望などについてお聞きしました。

本社・米沢センター社屋

○会社沿革について教えてください
～民放２局時代の視聴対策がきっかけ～

私は当社の３代目の社長になりますが、当社のそもそもの始まりは、初代社長が九州を訪問した際にテレビを見ていたところ、映るチャンネル数が非常に多いことに驚き、それが何か聞いてみると、ケーブルによってテレビ放送を流しているためとわかり、当時、民放２局体制※1で、見ることができるテレビに限りのあった山形県でも需要があるのではと考えたことがきっかけです。米沢近辺の高い山に電波塔を建て、仙台からの電波を受信できないか実験を始めると、技術的に問題ないことがわかりました。

その頃、米沢市は当時の郵政省のテレトピアモデル都市※2として全国20市のうちの１つに選ばれました。そのため、市長がこの事業構想に賛同し、民間と市が出資した第三セクターとして昭和61年６月に株式会社ニューメディア米沢を設立しました。平成元年４月に開局し、コミュニティチャンネル自主放送と地域外の放送を再送信する

事業からスタートしています。

当時はケーブルテレビが儲かるのではないかという期待感から、全国で数多くの業者が参入しました。しかし、思うように契約者数が伸びず、経営環境が厳しい時代でした。当社も設立後の累積赤字を解消するのに数年もかかっており、私は途中から経営参加し、資本強化に努力しました。現在の社名には平成12年６月に変更しています。事業の拡大や他県への業務展開などを経て、現在に至っています。

※１　山形県は昭和63年に３局（TBS 系のテレビユー山形開局）、平成９年に４局（フジテレビ系のさくらんぼテレビ開局）体制となった。

※２　郵政省は未来型コミュニケーションモデル都市として、ケーブルテレビ、データ通信、コミュニティ放送等の情報通信メディアを活用して、地域の情報化を促進し、地域社会の活性化を図ることを目的とした「テレトピア構想」を掲げ、昭和60年に20都市をモデル都市に指定した。

○事業内容について教えてください
～ケーブルテレビ事業などを米沢・函館・新潟で行う～

当社の事業内容は、大きく分けますと①ケーブルテレビ事業、②システム開発事業、③メディア事業の３つから成ります。

ケーブルテレビ事業では、地上・BS デジタル放送や CS 等の番組放送の他、インターネット接続サービスや電話サービス等を行っています。

システム開発事業では、交差点ライブカメラやテレビのＬ字システム※3のような放送系のシステム、広報・接客用途で Pepper（ペッパー）に使用するロボットアプリなどを開発しています。独自にシステム開発を行っていることが、ケーブルテレビ業界においての当社の特徴といえます。

メディア事業では、地域密着の理念のもとに、コミュニティチャンネル（テレビ）とコミュニティFM を通じて、身近な地域のコアな情報や話題をタイムリーにお届けしております。そのため、本社内に放送スタジオを設置しています。

事業所は本社のある米沢センターの他に、北海道の函館センター（函館市）と新潟センター（新潟市）があり、今年３月には福島センター（福島市）を設けました。

ライブカメラで情報提供

※３　天気やニュースなどの生活情報や地震などの緊急情報をはじめ様々な情報をテレビにＬ字型に表示するシステム。

○函館と新潟の事業所では何をされているのですか
～インターネット事業に注力～

函館と新潟でもケーブルテレビ事業やメディア事業を行っております。開設に至った経緯は、函館は地元ケーブルテレビを買ってくれないかとの要請があり平成13年に取得しました。

また、新潟には外資系企業が買収したケーブルテレビ会社があり、首都圏のケーブルテレビ会社と同様の一律のサービスをしていました。私は地方都市には地域の特性を活かすためのサービスが必要だと考えていました。それに、新潟は私が学生時代を過ごした思い出の場所です。

その新潟のためには外資系企業より、私共の方がきっと「地域のために役立つことが出来る」と確信して、譲り受けることにしました。両都市ではインターネット事業を中心に事業展開していま

函館センター社屋

新潟センター社屋

す。特に、函館市では、米沢と違い参入当初から地上波が全局映りましたので、ケーブルテレビの需要は米沢に比べれば小さいため、インターネット事業について、まだ普及していない時期から取り組んできました。

○ケーブルテレビの利点は何でしょうか
～当初の「難視聴対策」から、「観たい時に楽しむ」へ進化～

ケーブルテレビには主に４つの利点があります。①自県では映らないテレビ放送を視聴できる、②山間部やビル陰などの難視聴対策ができる、③アンテナがなくても BS や CS などを視聴できる、④自主放送を流せることです。

ケーブルテレビは、アンテナ設置が不要ですので屋根がスッキリしますし、山陰などの電波障害や風・雪による映像乱れの心配がありません。また、地上デジタル放送・BS 放送・CS 放送等の多チャンネルが視聴でき、録画タイプの専用チューナーを使えば大容量で録画しておき、観たい時にゆっくりとお楽しみいただけます。

また、当社独自のチャンネル「NCV９ch」を放送しており、他にはない、地域密着にこだわった放送が視聴できます。例えば、地域ニュースや生活に役立つ情報、高校野球地区予選などスポーツ中継、地方の選挙開票速報、地域校の部活動紹介など、地域に密着した幅広い分野をお楽しみいただけます。また、データ放送では、天気予報をはじめ、道路状況や河川状況などのライブカメラ、ショップ情報など地域住民が知りたい情報をお知らせしております。

当社では、ケーブルテレビ、インターネット、ビデオオンデマンド※4（VOD）、固定電話の４つを組み合わせたセットプラン「NCV スマートテレビ」をお薦めしております。同プランは、お得な料金で４種類を利用でき、テレビ以外にも、パソコン・スマホなど様々な方法で動画を楽しむことができます。

※４　インターネットを使って、映画やドラマ、スポーツなど様々なコンテンツをテレビやパソコン、タブレットやスマホなどで視聴できるサービス。

○御社のインターネット事業の利点は何でしょうか
～地域密着のきめ細かなサービス体制～

当社は平成10年にインターネット事業を始めたのですが、これは商売になるのではと考えたこと。そして、ケーブルテレビが高速インターネット回線に使える技術について米国で実験を始めたとの情報を得たことが始まりです。そのため、インターネットが普及し始めた初期のころから、当社はインターネット事業にかかわっています。今では当たり前の「使い放題プラン」についても、時間従量制が主流だった時代、他社に先駆けて始めています。

当社はインターネット事業の開始が早いですが、他社が後発で参入してくると、単なるインター

CS など多チャンネルを放送

NCV スマートテレビ

ネットサービスだけでは差別化が図れなくなりました。そこで、当社では、インターネット設備をお客様宅に開設してそれで終わりではなく、Wi-Fi 機器をつなげたり、プリンター、ゲーム機、レコーダーなどの機器の接続を最適化することをご提案しています。そして、使っていて不具合が出れば訪問対応しています。いわば、街の電器屋さん的な存在を担っています。お客様をサポートするためにはスタッフもたくさん必要であり、コストがかかりますが、これが当社のセールスポイントになっています。

また、お客様宅への訪問について、他社ですと、午前午後の指定まではできても具体的な時間指定まではできないことがほとんどですが、当社では「前のお宅から次のお宅まではこのくらい時間がかかり、近道はここだ」と地元スタッフならではの判断ができますので、時間指定が可能となっています。地方のインターネット事業者は大手との競争によって消滅してしまう例が多いですが、当社は地域密着のきめ細かなサービス提供により、多くのお客様からご支持をいただいております。家電量販店のキャッシュバックキャンペーンなどで当社を離れたお客様も、「やっぱり NCV のサービスが一番だ」と戻ってこられるケースも多くみられます。

他社のインターネット回線は米沢や秋田など東北各地から仙台を経由して東京に接続しています。一方、当社のインターネットは大容量の専用回線が東京に直結しているため、きわめて高速であり、スムーズにお楽しみいただけます。

○社訓等について教えてください
～「先見邁進　地域密着」～

当社の社訓社是は、「『先見邁進　地域密着』放送と通信を通じ　地域に夢を提供することを目的に　自己研鑽に努め　物心両面の豊かな生活を創造する」です。これは、私がケーブルテレビのことを勉強するために、県外のケーブルテレビ局を視察した際に、「ケーブルテレビは地域に密着していなければならない」「インターネット技術が進歩しており、常に勉強して技術革新をしなければならない」と痛感したことから定めました。

また、会社の５原則として、①基本方針・基本理念を全社員が徹底する、②誰もやらないことにチャレンジする、③決断は直ぐする、④誰でもできることはアウトソーシングする、⑤能力主義、を定めています。

当社は能力主義ですので、年功序列が全くなく、女性の役席が多く、女性役員もおります。能力主義といっても、「ライバルを蹴落とせ」ということではなく、仕事を通じて、日々コツコツと自分の能力を向上していこうということです。

○誰もやらないことにチャレンジとは
どのようなことがありますか
～自分たちで業務システムづくりを行う～

ケーブルテレビ業界では、業務システムやサービスに関して、外部委託するケースが多く、メーカーが作ったものをそのまま採用していることが多いです。一方、当社は、世の中にないシステムやサービスは自分たちで作ることをモットーに日々、技術力向上に取り組んでいます。そのために、誰にでもできる単純作業はアウトソーシングし、社員は付加価値の高い労働にあたっています。他社がやらないことをやっていますので、当社の技術力はきわめて高く、業界内でも認められていると自負しております。

○採用する人材はどのような方ですか
～入社後に育てていくことが基本～

この業界は、技術などに特殊性があるので、中途採用で即戦力としてズバリ当てはまるという人はなかなかいないです。新卒者や異業種の人を採用することになりますが、畑違いの人が社内で新たな可能性を作ってくれる効果があります。入社してから仕事を覚えてもらい、当社社員として育てていくことが基本となっています。他局に販売しているソフトウェアなども、ケーブルテレビとは異なる業界出身者が作っています。

また、新卒者についても、優秀な人材が採用できております。アナウンサーや技術職、営業職それぞれに、「こういうことをやりたい」「こういったことを勉強したい」という意欲の高い人材に恵まれています。当社は自分の興味やこれまで学んできた専門性を活かせるやりがいのある職場であると思っております。

○福島での事業展開について教えてください
～インターネット、固定電話、VOD を提供～

福島センターの社屋は福島市御山に建設中ですが、通信設備は出来上がっており、仮設の事務所で今年３月から稼働しています。現在、福島で取り扱っているのは、インターネット、固定電話、ビデオオンデマンド（VOD）です。当社ではその３つを組み合わせたセットプラン「NCV ひかりスマート」を設けています。先ほど述べました通り、当社のインターネットは東京からの専用回線ですので、スムーズな通信速度にご満足いただけると思います。また、VOD はテレビやパソコン、タブレットやスマホなど、インターネットに接続できる端末で、好きな時に好きな場所で動画を楽しむことができます。オプションで自宅での通信カラオケも楽しむことができます。

今のところ、今後のサービスエリア予定は福島市の約８万世帯です。今は放送サービスを行いませんが、通信回線に放送用のデータを入れることもできるようになりましたので、放送サービスにも対応できるように設備を設計しています。将来的には、全国に先駆けて、通信と放送が融合したサービスを展開できるかもしれません。

我々は自社独自の技術力を持ち、設計から構築まで一貫して自分たちでできるなど、その地域に合ったサービスを提供できるノウハウがあります。福島はケーブルテレビ文化がまだ根付いていないので、事業展開をやりづらい地域でありますが、ケーブルテレビや NCV のことを知ってもらえるチャンスだと捉え、福島に合ったサービス展開を考えていきたいと思っております。

○今後の展望についてお聞かせください
～本業が第一だが、企業間取引にも注力～

従来の放送やインターネットサービスにとどまらないサービスについて、新たに始められないかどうか検討しているところです。近年、テレビ離れが進んでいるといわれています。それは、テレビ番組自体を視ていないわけではなく、録画して後で視る、ネット経由で視るというものです。今後ケーブルテレビ業界の競争相手も変わってくると思われます。

放送技術について特許を取得し、さらに、ケーブルテレビ業界に販売するという可能性も追求していきたいと思っております。現在、当社ではソフトウェアの開発を行っていて、これは他社にも販売しています。本業であるケーブルテレビを頑張っていくことが第一ですが、飽和状態になってくればＢ to Ｂ（企業間取引）の比重を高めていかなければなりません。Ｂ to Ｂで行える商売もまだまだあるのではないかと考えています。

これからも地域に密着し、地域の未来のために新たなチャレンジを続けてまいりますので、今後もよろしくお願い致します。

テレビ放送の制作現場

【インタビューを終えて】

ICT 技術は日進月歩であり、多種類の機器同士を組み合わせると、様々な楽しみ方ができるものだと思いました。私自身がケーブルテレビに無縁で今まで全くわかりませんでしたが、今回当社を訪問してケーブルテレビについて理解することができました。インタビューの際にお話しを伺った、社長はじめ役員の方々は、全員他業界のご出身ということでしたが、様々な業界の知恵が結集されて、進歩の速いケーブルテレビ・インターネット業界を上手くリードしているという印象を受けました。

実際のテレビで「ライブカメラ」の道路状況の映像を見ましたが、高画質で確認できますので、雪国での運転には便利で必須と思いました。

来年度には東北中央道の福島－米沢間が開通となります。米沢市など山形県内の企業と本県との新たな交流が生まれていくことが予感された取材となりました。　（担当：高橋宏幸）